

車での移動中は十分注意してください。動いている車中で動き回ったりしないよう、クレートにならせておきましょう。また、酔ってしまう犬も多いですから車内は涼しく風通しをよくし、こまめにトイレ休憩をしてあげてください。出掛ける3時間前は食事を与えないでください。どうしても欲しがる場合は、いつもの1/4位にしてください。ただし、水はいつもどおりあげてください。

5. どうして不妊手術をしたほうがよいのですか、いつごろからできますか

不妊手術を行うことで生殖器の病気を減らすことができます。また、年に2回ほどのホルモンの刺激を受けなくなるので、メスでは乳腺の病気(乳癌)をオスでは前立腺の病気を減らすことができます。また、発情を抑え、尿スプレーや喧嘩などの問題行動を軽減することが出来、不幸な仔犬・仔猫を増やさないことにもつながります。

手術時期としては、最初の発情前の5～6ヵ月齢がいいです、乳癌の発生率が1/200になるといわれています。

不妊手術をすることで、当然ですがその子の子供は望めません。性格が突然おとなしくなることもありません。発情の煩わしさがなくなりますので太りやすくなるという傾向もあるようですので食事管理が大切です。麻酔への心配や費用のことなど、手術につきましてはご家族でよく話し合わせ、不安な点は何でも病院に相談ください。